

平成 21 年 5 月 8 日

各 位

会 社 名 セガサミーホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長
 里 見 治
 (コード番号 6460 東証第一部)
 問 合 せ 先 グループ代表室長兼グループコミュニケーション室長
 上 田 晃 一 郎
 (電話番号 03-6215-9955)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 2 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 21 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 435,000	百万円 2,500	百万円 500	百万円 △21,500	円銭 △85.34
今回発表予想 (B)	429,100	8,300	6,600	△22,800	△90.50
増減額 (B-A)	△5,900	5,800	6,100	△1,300	—
増減率 (%)	△1.4	232.0	1,220.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	458,977	△5,829	△8,224	△52,470	△208.26

【修正の理由】

売上高については、主に遊技機事業において販売台数が想定を下回る結果となり、連結売上高は前回発表予想値を下回る見込みです。

営業利益・経常利益については、遊技機事業、アミューズメント機器事業、アミューズメント施設事業において前回公表値を上回る見込みです。遊技機事業においては販売台数が想定を下回るものの、価格戦略の見直しや部材リユース等により粗利率が改善し、また広告宣伝費削減等により販管費が減少いたしました。アミューズメント機器事業においては営業費用が見込みを下回ったこと、またアミューズメント施設事業においては既存店舗収益が想定を若干上回る推移となったことおよび営業費用として見込んでいた施設閉鎖に伴う一部の費用が特別損失として認識されたことが主な要因です。

上記要因により営業利益・経常利益が増加する一方、アミューズメント施設の閉鎖に伴う特別損失が約 20 億円増加したこと、またコンシューマ事業におけるタイトルの絞込みを目的とした一部タイトルの開発中止に伴う損失約 35 億円を計上するなど、特別損失が前回業績予想値発表段階から増加することを受け、当期純損失は前回発表予想値と比較して増加する見込みです。

以上の結果、通期連結売上高 4,291 億円 (前回発表値と比較して 59 億円の減少)、営業利益 83 億円 (前回発表値と比較して 58 億円の増加)、経常利益 66 億円 (前回発表値と比較して 61 億円の増加)、当期純損失 228 億円 (前回発表値と比較して 13 億円の損失増加) を見込みます。

※本資料内に記載した業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上